

2023年4月14日

各位

会社名株式会社メタリアル
代表者名代表取締役五石 順一
(コード番号: 6182)
問合せ先取締役 荒川 健人
グループ管理本部長
(TEL. 03-6685-9570)

**営業外費用(個別)、特別損失(連結・個別)の計上及び
通期連結業績予想等と当期実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、2023年2月期の連結決算・個別決算において、営業外費用及び特別損失の計上を行うとともに、2023年1月13日公表の通期連結業績予想及び前期通期連結実績と、本日公表の連結実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の計上

・関係会社貸倒引当金繰入額(個別)

当社の一部の連結子会社に対する貸付金などについて、2023年2月期末での回収可能性を評価した結果、311,865千円を関係会社貸倒引当金繰入額として、営業外費用に計上しております。なお、関係会社貸倒引当金繰入額は、個別財務諸表にのみ計上されるものであり、連結財務諸表への影響はありません。

2. 特別損失の計上

・減損損失(連結)

当社の連結子会社において、既存の開発プロジェクトおよび関連事業にかかる採算性の再評価及び開発・営業リソース集約整理を行った結果、帳簿価額を回収可能価額の最低限度まで減額し、68,455千円を減損損失として計上いたしました。

・投資有価証券評価損(連結・個別)

当社が保有する株式会社オルツにかかる投資有価証券(非上場株式)については、2023年2月期末時点において実質価額が著しく低下したものと判断し、評価差額である166,122千円を投資有価証券評価損として、連結・個別決算上、特別損失に計上しております。

その結果、第3四半期連結累計期間までに既に計上しております特別損失計上額を含めた2023年2月期の特別損失は233,763千円となります。

・関係会社整理損（個別）

当社の連結子会社（Event DX 社）の清算を行っており、関係会社整理損として、24,519千円を特別損失に計上しております。なお、関係会社整理損は個別財務諸表にのみ計上されるものであり、連結財務諸表への影響はありません。

3. 通期連結業績予想等と実績値との差異

(1) 2023年2月期通期連結業績予想等と実績値との差異(2022年3月1日～2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,240	400	未定	未定	未定
当期実績 (B)	4,292	515	516	29	2.77
増減額 (B-A)	52	115	-	-	-
増減率 (%)	1.2	28.7	-	-	-
(ご参考) 前期通期実績 (C) (2022年2月期)	4,159	91	△45	△1,238	△116.24
増減額 (B-C)	133	424	561	1,267	119.01
増減率 (%)	3.2	460.6	-	-	-

(ご参考) 2023年2月期セグメント別通期連結業績予想と実績値との差異

売上高

(単位：百万円、%)

セグメント	前回発表予想 (A)	当期実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)
MT 事業	2,870	2,911	41	1.4
HT 事業	1,360	1,370	10	0.7
メタバース事業	10	10	0	0.0
その他本社費等	-	-	-	-

営業利益

(単位：百万円、%)

セグメント	前回発表予想 (A)	当期実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)
MT 事業	570	630	60	10.5
HT 事業	250	267	17	6.8
メタバース事業	△450	△425	25	-
その他本社費等	30	42	12	-

(2) 差異の理由

MT 事業、HT 事業、メタバース事業ともに前回発表予想時の想定よりも受注改善や費用抑制があった結果、前回発表予想を上回る結果となりました。なお、経常利益の前期通期実績との差額については営業利益増加に起因するものであり、親会社株主に帰属する当期純利益の前期通期実績との差額については 2022 年 2 月期に多額の固定資産減損並びに投資有価証券評価損を計上したことに起因します。

以上